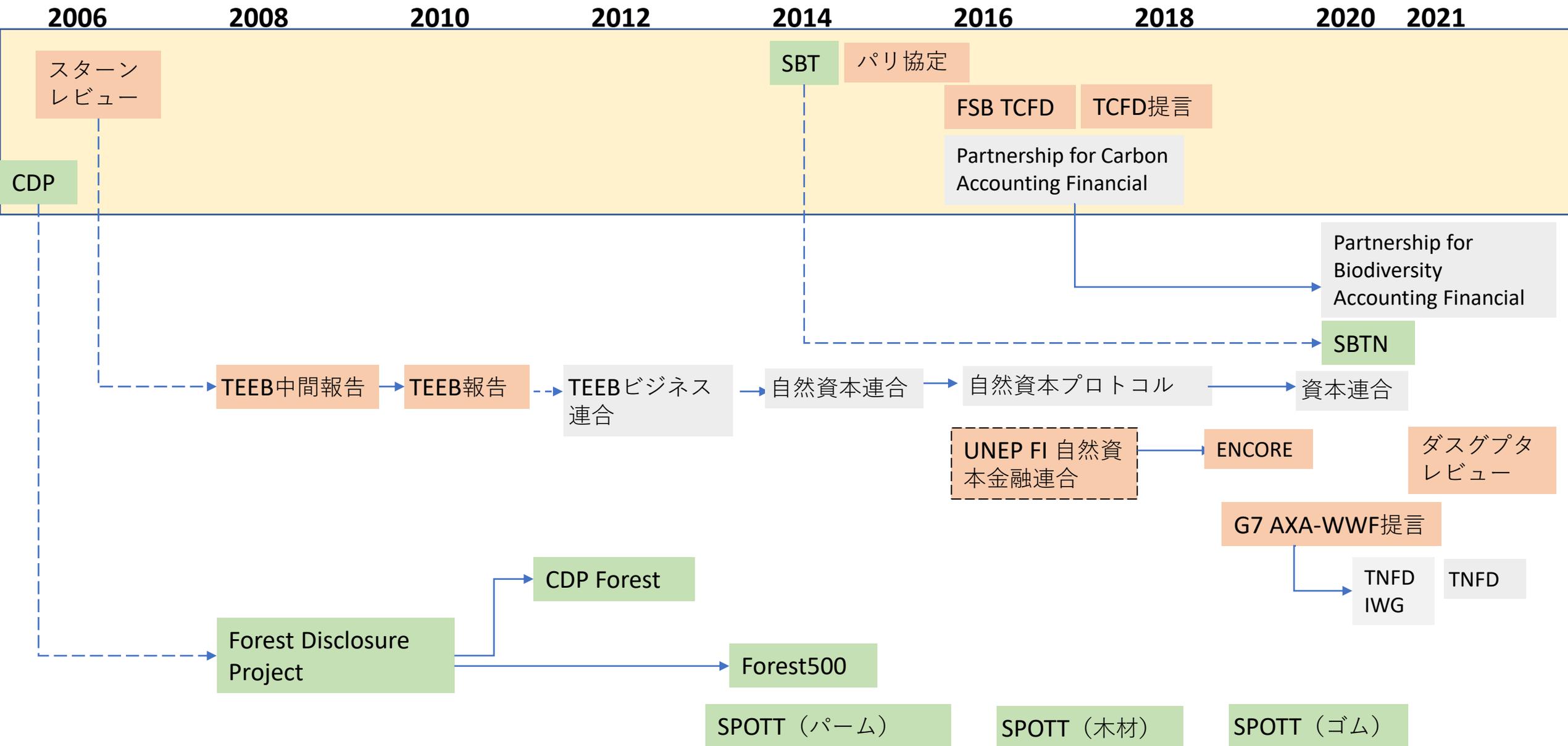


ZSLの企業評価ツールSPOTTに見るESGにとっての自然リスク

2022年1月19日

一般社団法人SusCon
栗野美佳子



ZSLとは

正式名称：ロンドン動物学協会（Zoological Society of London）



ロンドンに拠点を置く **国際
自然保護団体**



950名のスタッフ

280名の自然保護・政策提言
担当者
9名のビジネスと生物多様性
担当者



本部はロンドン だが、アフリカ・アジアの10か国でプログラム展開

- ロンドン動物園の運営団体
- 生きている地球指数（LPI）の開発・算出団体



ZSLのサステナブルビジネス・ファイナンスプログラム

パートナー：サプライチェーンの主要なアクターを通じて変革を推進する

- **持続可能な金融と投資**：ポートフォリオ内の企業に対するエンゲージメントを促進しつつ、生物多様性が責任ある持続可能かつインパクト志向のESG投資手法や投資判断に組み込まれるよう、金融セクターと協同する。
- **持続可能な生産**：合法的で持続可能な生産慣行に改善されるよう、生産者と協同する。
- **持続可能な取引と消費**：製品やサプライチェーンの持続可能性が評価され改善されるよう、商社・メーカー・小売業者と協同する



SPOTTとは

SPOTT は上流のコモディティ生産者における透明性を支えるために作られた無料のオンラインプラットフォームです。

SPOTTはパーム油、木材パルプ、天然ゴムにおける世界の大手生産者や取引企業**200**社以上を評価しています。

企業評価は**ESG**の**10**カテゴリーについて、方針・実務・コミットメントの公開情報を基に行います。

金融機関やサプライチェーン企業が投資や調達を決めるにあたっての情報源として利用しています。

-  サステナビリティ方針、リーダーシップ
-  土地、地図、森林管理単位、精製所、追跡可能性
-  森林破壊、生物多様性
-  高い保護価値、高炭素貯留、インパクトアセス
-  泥炭地、土壌、火災、GHG排出
-  水、化学物質、廃棄物、病害虫管理
-  コミュニティ、土地、労働者の権利
-  認証基準
-  小規模農家、サプライヤー
-  ガバナンス、異議苦情

木材とパルプ：ESGポリシーの透明性評価

最新の更新：2021年6月 | 次の予定：2022年7月

データのダウンロード (csv) | 概要を表示

SPOTTは、100の木材およびパルプの生産者、加工業者、および貿易業者を、組織に関する公開情報について評価します。...もっと見る

スコアの重み付けを変更する

フィルタを追加します

開示の種類： 組織 ポリシー 練習

概要を表示

会社	ランク	合計点	変化する	開示	従事している	本部	ランドバンク	時価総額	メディア
インターホルコ	1	94.8%	+4.1	組織, ポリシー, 練習	✓	スイス	801.7 Kha	プライベート共同。	14
プレシャスウッズ	2	88.1%	-1.7	組織, 練習	✓	スイス	1,103.5 Kha	プライベート共同。	6
デュラテックス	3	74.3%	-1.5	組織, 練習	✓	ブラジル	139.5 Kha	1,870.8Mド	
オラムインターナショナル	4	73.1%	+1.7	組織, 練習	✓	シンガポール	2,100.0 Kha	\$ 3,20	
鳥羽パルプレスタリ	5	72.3%	+11.9	組織, 練習	✓	インドネシア	258.1 KH	79	
ウッドボア	=6	71.6%	-4.3	組織, 練習	✓	イギリス	337.5 KH	\$ 10	
ガボンウッドカンパニー	=6	71.6%	-1.7	組織, 練習	✓	ガボン	568.5 Kha	プライベート共同。	
クラピン	8	70.8%	-3.4	組織, 練習		ブラジル	開示されていません	\$ 4,316.3M	12

世界の大手生産者・加工企業・商社を毎年ランキング

開示の現状

 土地、地図、追跡可能性



 森林破壊、生物多様性



 高い保護価値、高炭素貯留、インパクトアセス



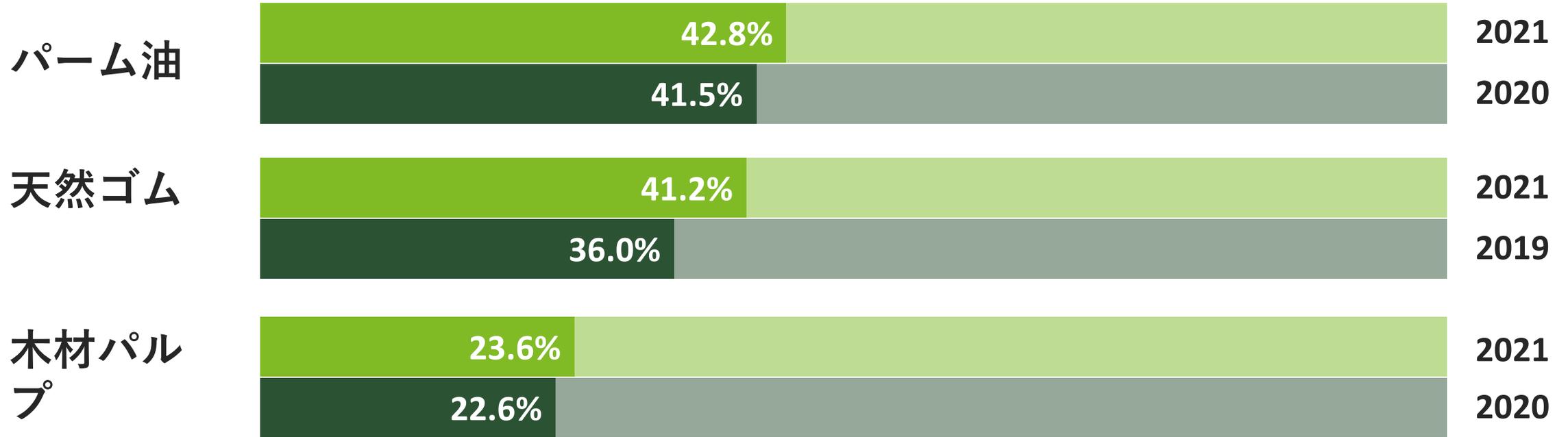
 土壌、火災、GHG排出



 水、化学物質、廃棄物、病害虫管理



SPOTT評価での平均スコア



2021年にSPOTTの評価対象となった企業の平均スコア



前年にSPOTTの評価対象となった企業の平均スコア

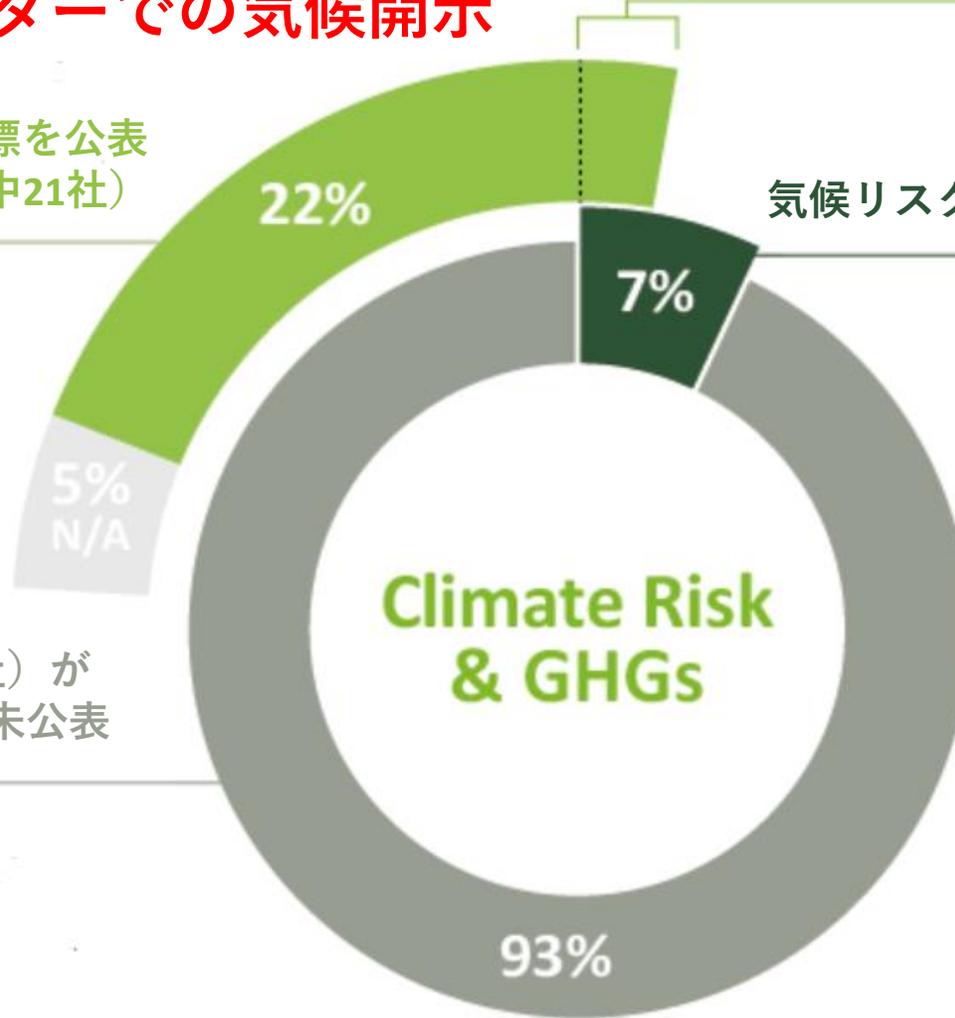
気候リスク評価と炭素強度削減の期限付き目標の両方を公表している企業は3社

パームセクターでの気候開示

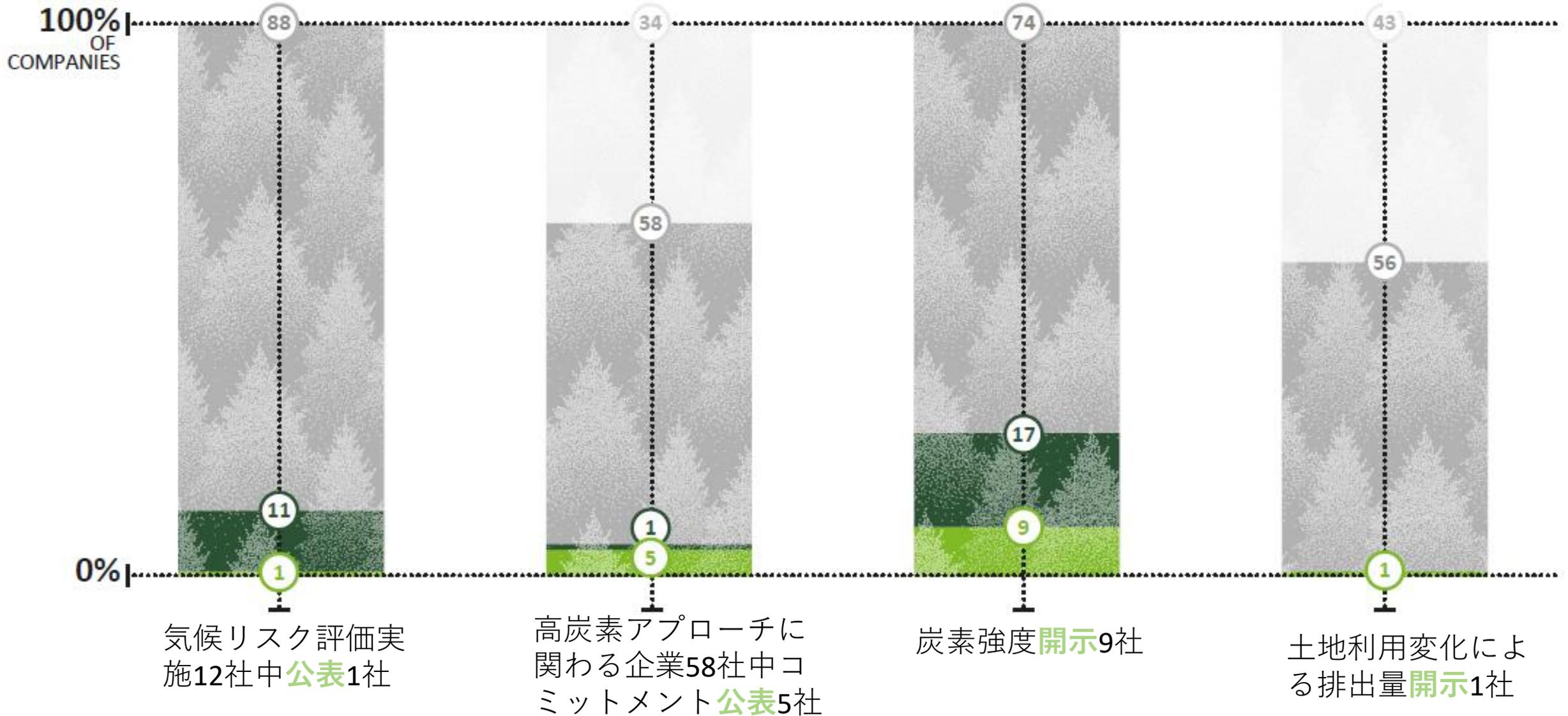
炭素強度削減の期限付き目標を公表している企業は22% (95社中21社)

気候リスク評価を公表している企業は7% (100社中7社)

93% (100社中93社) が気候リスク評価を未公表



木材紙パルプセクターでの気候開示





TNFDの挑戦

- 生物多様性と自然損失は、現在及び将来にわたり、ビジネスにリスクと機会の双方をもたらす。
- 現在、どの企業が自然劣化による財務影響を受けるか、その影響はどれだけ大きいか、**理解するのに必要な情報を金融機関と企業は持ち合わせていない。**
- 姿を現しつつある自然に基づいたリスクに企業が適応を迫られれば、**信頼のおける自然関連情報のない金融市場**は、不安定性と突然の価値のシフトに対し**脆弱**なものとなる。